



まきは通信

第9号

内人日日是新人

日本基督教団総会議長 山北宣久

本日、心を一つにして「まきは」増築工事の定礎式を捧げることができる喜びを感謝いたします。悪天候の中においても、聖霊が雨と注ぎ、「まきは」が潤されていることを実感いたします。

讚美歌Ⅱの111番に「岩なる主イエスを礎として、揺るがぬ教会は頼もしきかな」との一節があります。私たちは今、揺るがぬ「まきは」の頼もしさの礎は、主イエスであることを確認しました。

私たちの営みは、試練、艱難、罪にしばしば悩まされます。しかし、見える建物は見えない土台に支えられます。目に見える組織は見えない信頼、愛によって運営されます。見える「まきは」は、見えない神の計画と主イエスのとりなしによって保たれます。

「まきは」の業は、神の加護への祈りなくしては始められません。

「私たちは見えるものではなく見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです」というみ言葉を私たちは聞きました。「まきは」は高齢者施設として、「外なる人」は衰えることを実感させられる場所です。しかし同時に、私たちの「内なる人」は日々新たにされていくことを発信する場所として「まきは」は建てられています。この尊い業に携わる全ての方々に敬意を表して止みません。



肉体の苦痛も主のよみがえりの光の中では一時の軽い艱難にすぎません。やがて私たちは比喩ものにならないほどの栄光に預かります。この希望を証しする「まきは」には、信仰と希望と愛とがあふれます。「内人日日是新人」、見える世界と見えざる世界が切り結ばれ私たちが日々新しくされる場所には、主の十字架と復活が礎として置かれています。

今、受難週の時にこの定礎式が行われる意義を思います。苦難から栄光へ、十字架から復活へ、そして死から命へと向かう神の救いの道筋の中で本日の定礎は執行されました。深い畏れと感謝と感慨を禁じ得ません。

※4月11日に「まきは」新館増築工事定礎式の中で式辞として述べられたメッセージを要約したものです。

新館・定礎式 …………… 2

クリスマス …………… 3

新館・設計図 …………… 4~5

俳句・短歌 …………… 6

●
施設長の「まきは」報告 …… 7
館長・施設長 鈴木 卓也

天幕の中、定礎式が厳粛に執り行われました。

4月11日(火)桜の花びらが舞う激しい風雨の中、新館建築現場において定礎式が執り行われました。

定礎は、東京から山北宣久日本基督教団総会議長がお越し下さり、定礎に続いて式辞をのべてくださいました。巻頭には、山北議長が定礎式において取り次いで下さいました式辞を載せました。そして、金沢から楠本史郎中部教区総会議長もお越し下さった他、高橋潤教区副議長、大島純男愛知西地区長も駆けつけて下さいました。また、佐護彰日進市長、近隣施設の理事長・責任者の皆様のご出席もあり、多くの方々の祝福を受け、恵まれた定礎式を持つことができました。

式後食堂に会場を移して、山下設計、熊谷組の皆様と共にティーパーティーを持ち、楽しく歓談の時を過ごすことができました。



▲ 仮設テントで行われた定礎式



▲ ティーパーティーでの懇談



▲ ティーパーティーで挨拶する
佐護彰日進市長



昨年もまた、恵まれたクリスマスを 過ごすことができました。



2005年12月13日(火)に愛知老人コミュニティーセンター主催の「まきば」クリスマスが、19日(月)には名古屋学院一麦会の来訪クリスマスがおこなわれました。

「まきば」クリスマスには、楠本史郎中部教区総会議長が礼拝説教をしてくださり、高橋潤副議長と加藤幹夫書記が出席してくださいました。教区3役を迎えての祝会は、例年にも増して賑やかに過ごすことができました。

名古屋学院の皆様は総勢40名が観光バスを借りてお越しください、柿沼学院長の説教と聖歌隊の皆様の賛美を中心に、その後クリスマスカードの交換や、楽しい語らいの時を持ちました。すっかり恒例になったクリスマスの行事でした。



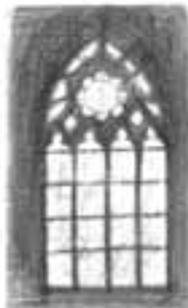
▲ 中部教区 高橋副議長・楠本議長・加藤書記



▲ 楽しい語らいの時



▲ 楠本史郎中部教区総会議長による説教



▲ 礼拝に出席した皆様



▲ 準備された盛りだくさんの料理



いよいよ新館の建築が始まりました。

前号では完成予想図と設計のポイントを紹介しましたが、ここに概略の設計図を掲載します。

左側が既存の本館、渡り廊下でつながった右側が今回建設する新館です。

本館は5階建て、新館は平屋になります。

新館は11月中旬に完成予定。看護・介護センターの引越や介護専用居室への入居が始まります。その後本館の改修工事を行い、愛知老人コミュニティーセンター本部や職員更衣室などを備えます。改修終了は来年1月末ごろの予定です。



「俳句・短歌」

〈俳句〉



一病をいたはる 老いの 春炬燵

朝倉 和代

春寒や 老いの歩みの 遅々として

浅野 み祢

三月に 生まれし子です 「桃子」です

石原 信良

京よりの 電話も 嬉し 花便り

伊藤 好子

春宵や 鉛筆 ぼとり 落らし音

井上 和子

満天の 星 こぼれけり 春の花

大谷 多可子

春風や 背すじ伸ばして 乗馬の子

木村 泉

遠き日の 母と 歩みし 花の道

城崎 幸子

捨てられぬ 着馴れし赤の ちゃんちゃんこ

富田 きよ子

初日記 この歳になり 書くことに

富田 晏弘

花の道 杖なく 独り 歩きたし

藤高 好子

菫まだ 咲かず 淋しき 散歩道

松井 真

患者待つ 直立不動の 黄水仙

山内 義盛

桜咲き 雨も 恵みの 定礎式

山下 比奈子

パン焼けて かをる珈琲 スイートピー

森 枝葉子

舞う桜花 気に合せよか 新住まい

青谷 知昭

老妻は 膝にアルバム 巴里祭

安井 照男

屋根赤く あるひは碧く 里苳菜

鈴木 あさ子

花の雲「まきば」かこみて うす紅に

後藤 正子

〈短歌〉

優美なる しだれ桜を 愛でながら

徳川園の ひな御膳食む

中村 婦佐



春遅き 興安嶺の 暮れなずむ

大空仰ぎ 壕に横たう

森島 利定



施設長の「まきば」報告

館長・施設長 鈴木 卓也



いよいよ新館の増築工事が始まりました。記事に紹介いたしましたとおり、定礎式には東京から山北教団議長がお越しくださいました。

ここに至るまで、驚くばかりの恵みをもって導いて下さいました主と、長い間祈りを共にしてくださいました皆様に、心からの感謝を申し上げます。

入居者46人と職員36人の、この小さな施設のために教団・教区に連なる多くの方が支えてくださり、今日を迎えていることを実感して感謝に堪えません。

山下設計による図面をもとに、熊谷組に工事を担当していただくことになりました。

今回の増設に伴って、愛知老人コミュニティーセンター本部室を持つことができるのも大きな喜びのひとつです。各個教会の高齢化によって起こってくる様々な問題に対して、積極的に関わって行くセンターとして用いられることを望んでいます。

教会員の安心な老後の過ごし方や、高齢者を家族に抱える信徒が負った介護から起こる問題などなど、諸教会の祈りにあわせた具体的な相談窓口として利用していただきたいと願っています。完成にいたるまで今しばらくの間、工事の安全のためにお祈りください。

入居予約申込受付中

見学や体験入居もできます(要予約)



キリスト教プログラム

「聖書の学び」「讃美の集い」などの定例集会在毎週施設内であり、自由に参加できます。主日礼拝出席者のために、日本基督教団南山教会からバスが迎えに来ます。その他、南山教会の「聖書研究祈祷会」、真向かいにある愛知国際病院の「聖書集会」にも自由に出席することができます。



(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
silver home

まきば

シルバーホーム「まきば」と共に祈りの生活を……

広い牧場を臨み、近くに愛知池があり、
緑豊かな自然に包まれて暮らす…

真向かいに病院があり、牧場をはさんで教会もあります。



交通機関

名鉄豊田線(名古屋市営地下鉄鶴舞線より直通乗り入れ)黒笹駅から1.1Km
東名高速道路・三好ICから3.4Km
日進市公共巡回バス・南山エピック南から200m

提携医療機関

医療法人財団愛泉会愛知国際病院(内科、外科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、神経内科、胃腸科、肛門科、循環器科、リウマチ科)、武田歯科医院

類型及び表示事項

施設の類型/介護付有料老人ホーム 居室の権利形態/終身利用権方式
介護保険/愛知県指定特定施設入居者生活介護・予防介護特定施設入居者生活介護
入居時の要件/60才以上で入居時自立及び要支援の方
介護居室区分/個室及び二人部屋 介護にかかわる職員体制/2:1以上

入居一時金

1人部屋/1500万円(22.05m²)
2人部屋/2200万円(32.76m²) 返還金制度あり

お問い合わせ先

(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター シルバーホーム「まきば」

〒470-0114 愛知県日進市米野木町南山987-88

TEL.0561-74-5548 FAX.0561-74-5561 <http://www.ne.jp/makiba>

■愛知老人コミュニティーセンターへの献金報告

献金者芳名 (2005.4.1～2006.3.31) (敬称略)		
教会福祉献金	匿名氏1名	合計 1,000,000円
センター 維持献金	愛知西地区教会婦人会連合、下村徹嗣 岩本和則、溝口敏江、横松順子、真木芳子 深谷佐和子、名古屋学院一麦会 名古屋一麦教会、熱田教会、岡崎教会 中部学院大学・中部学院大学短期大学部宗教委員会 富山新庄教会、天白伝道所、広路教会 金沢元町教会、尾陽教会、丹羽 進 安城教会、篠田 潔、鈴木卓也 匿名氏 2名	合計 598,000円

なお、教会福祉献金の献金開始からの総額は、61,226,338円が積立てられています。また、通常献金として275,500,000円が積立てられています。皆様からの献金を心より感謝申し上げます。

献金振込先

- ① 三菱東京UFJ銀行 日進支店
(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
理事長 篠田 潔
普通口座 1162658
- ② 郵便振込
日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
振替番号 00870-4-29934



編集後記

「定礎式」の当日、横殴りに降りしきる雨に濡れながら恨めしいような気持ちで式に出ていた私達を前に、山北先生は、“天から降り注ぐ恵みの雨を受けて…”と清しいメッセージをして下さった。

今回の「まきば」通信第9号は、その山北先生の式辞から始まり、「まきば」の介護専用施設の増築に関して数ページを割いて説明している。介護専用施設の増築を機に、「まきば」も新しい歩み始める事になる。多くの方々が、今まで「まきば」の歩みを見守りつつ、支えて来て下さったが、更にまた、「まきば」のこれからの歩みに目を注ぎ、祈って頂きたい。

その時々に応じて、私達編集部も「まきば」のことをしっかりと伝えていきたいと思っている。
(森岡 廣貴 記)

